

企業版ふるさと納税の効果検証について

1 制度の概要

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生に関する取組に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

地方版総合戦略を策定した地方公共団体が、それをもとに地域再生計画を作成し、国に認定されれば、当該地域再生計画事業に対する企業からの寄附について、法人住民税、法人税、法人事業税が税額控除（寄附額の最大 9 割が軽減）されます。ただし、本社が所在する地方公共団体への寄附や、10 万円未満の寄附については制度の対象外となります。

また、地方創生推進交付金の対象事業に 200 万円以上又は事業費の 1 割以上の企業版ふるさと納税を活用した寄附を充当する場合、横展開タイプの事業期間（3 年間）を先駆タイプと同様に 5 年間まで認めるインセンティブが付与されます。

2 竹田市における企業版ふるさと納税に係る地域再生計画の認定

本市では、総合戦略と同一の事業を制度適用対象事業として、令和 2 年 7 月 3 日に「第 2 期竹田市地方創生 TOP 総合戦略推進計画」の認定を受けました。この計画は、本市の総合戦略の全事業が反映されているため、あらゆる施策において広く活用可能となっています。

3 寄附の状況

令和 2 年度実績：3 事業に 895 万円

No	事業名	件数	寄附総額
1	定住促進のための住環境整備事業	5	1,950,000 円
2	久住高原の景観や自然環境の保全・活用事業	1	5,000,000 円
3	国指定史跡旧竹田荘リニューアル事業	1	2,000,000 円
	計	7	8,950,000 円

令和 3 年度実績：8 事業に 1,280 万円

No	事業名	件数	寄附総額
1	稲葉ダム Think and Act Projects	1	1,000,000 円
2	日本最強の城『岡城』見える化プロジェクト	1	1,000,000 円
3	都市公園整備プロジェクト	1	1,000,000 円
4	～竹田とつながる～関係人口・関係企業創出プロジェクト	2	1,300,000 円
5	防災×デジタル推進プロジェクト	1	1,000,000 円
6	守り、紡ぐ。大自然が育む景観と農資源の活用プロジェクト	1	5,000,000 円
7	農林業サポート人材バンクプロジェクト	1	500,000 円
8	祖母山麓エリア再生プロジェクト	5	2,000,000 円

No	事業名	件数	寄附総額
	計	13	12,800,000 円

令和4年度実績：8事業に445万円

No	事業名	件数	寄附総額
1	市道の広域保全プロジェクト	3	1,400,000 円
2	～竹田とつながる～関係人口・関係企業創出プロジェクト	1	100,000 円
3	伝統芸能『竹田薪能』継承プロジェクト	1	500,000 円
4	日本最強の城『岡城』見える化プロジェクト	1	100,000 円
5	稲葉ダム Think and Act Projects	1	1,000,000 円
6	定住促進のための住環境整備プロジェクト	1	300,000 円
7	たけた竹灯籠『竹楽』と里山保全プロジェクト	1	100,000 円
8	交通安全対策プロジェクト	1	950,000 円
	計	10	4,450,000 円

令和5年度実績：8事業に820万円

No	事業名	件数	寄附総額
1	都市下水路管理プロジェクト	1	1,000,000 円
2	竹田トリニティ・プロジェクト 「三位一体による移住体制づくり」～『質』の高い移住へ～	2	2,000,000 円
3	伝統芸能『竹田薪能』継承プロジェクト	3	900,000 円
4	日本最強の城「岡城」見える化プロジェクト	1	1,000,000 円
5	稲葉ダム Think and Act Projects	1	1,000,000 円
6	定住促進のための住環境整備プロジェクト	1	200,000 円
7	たけた竹灯籠『竹楽』と里山保全プロジェクト	2	1,100,000 円
8	子育て家庭にやさしく、夢に挑戦できる学びの場整備プロジェクト	1	1,000,000 円
	計	12	8,200,000 円

4 認定計画のKPI（重要業績評価指標）の達成状況について

認定計画のKPIの達成状況については、資料1に記載のとおりです。

5 事業の評価

令和5年度は寄附募集事業の拡充、職員向け説明会の実施等に取り組み、11社より合計8,200千円（前年度比184%）の寄附を受領しました。前年度からの継続寄附が5社ありま

した。新規事業を含む8事業に活用し、総合戦略に位置付けられた地方創生事業の推進に寄与することができました。

6 今後の取組方針について

竹田市地方創生推進会議、金融アドバイザー合同検証会議等での効果検証の結果を踏まえて、一層の活用促進を図ります。

引き続き、企業にとって魅力的な事業を構築するとともに、竹田市にゆかりのある企業だけでなく、竹田市を知ってもらう機会と捉えマッチングサポートなどの利用を検討するほか、トップセールスを行う際に配布できる名刺カード（以下、写真）を作成し、企業版ふるさと納税の周知・募集に取り組みます。



また、これまでの寄附企業からも継続していただくことができるよう、活用実績の報告など丁寧なアフターフォローに努めます。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

1. 都市下水路管理プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 (円)	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
都市下水路維持補修事業	建設課	1. (1) 2 城下町の情感を活かした中心市街地の活性化	1,000,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	中心市街地の都市下水路（導水路）は、玉来川から堆積する河川の土砂除去の作業を行うとともに、修繕や水路内の水流の維持などを行った。 また、豊後竹田駅周辺の稲葉川沿いに整備された開渠の水路は景観保全の役割を継続して果たしていくことができるよう、改修や改良を行った。	①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。	【事業の効果】 生活空間の環境維持の他、中心市街地の景観保全に寄与した。 【事業の推進】 今後も住民が安心して生活できる環境を守るとともに、中心市街地の景観を保全することで、地域活力の維持に努める。 【寄付を受けたことによる効果】 寄付により、生活空間の環境維持、中心市街地の景観保全のための経費の負担軽減につながった。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

2. 竹田トリニティ・プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 (円)	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
竹田市移住促進 社会人インター ンシップ事業 地域コミュニ ティ基盤強化事 業	総合政策課	3. (1) .1 移住を促進 させる支援 体制の充実	2,000,000円	移住施策 を活用し た移住者 数 Uターン で転入し た人数	0世帯 1世帯2人	100世帯 50人	令和6年度	60世帯 30世帯51 人	移住希望者と地域・企業とのミスマッチを防ぐため、社会人を対象とし、移住希望者の暮らし体験や転職、キャリアアップなど仕事を探す中で、地域や市内事業者をマッチングさせ、職場体験・見学を経験した上で、安心した移住の実現を目指す取組を実施した。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	【事業の効果】 移住希望者との地域・企業とのミスマッチを防ぎ、安心した移住促進に寄与した。 【事業の推進】 今後も移住希望者等が安心して移住ができるよう情報発信やサポート体制を強化し、移住・定住の推進を図っていく。 【寄付を受けたことによる効果】 寄付により、移住事業の促進に繋がり、支援体制の強化が図られた。



※自己評価

- ①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
- ②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
- ③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
- ④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

3. 伝統芸能『竹田薪能』継承プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 (円)	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
伝統芸能『竹田薪能』継承事業のための財源確保	商工観光課	1. (2) 2 地域の歴史・文化、自然環境や景観などの「地域資源」の保全活動の支援による地域力の向上	R5年度 900,000円 (R4年度 500,000円)	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	R4年度基金に積み立てた寄附金（500,000円）とR5年に受け入れた寄附金により、10/28(土)碧雲寺蠟燭能、10/29（日）竹田薪能特別版ろうそく能グランツたけたにて実施した。 来場者数 自由席 106席 指摘席 53席	③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。	【事業の効果】 能楽の文化継承に繋がる取組みとなった。 【事業の推進】 竹田市の文化・伝統を継承する事業として賛同が得られる企業に対して働きかけを行って行きたい。 【寄付を受けたことによる効果】 事業費の全てを寄附金で賄っているため、自立した運営を始めることができた。今後は基金積立を活用し、資金状況に応じて開催頻度や開催場所など協議会で協議を行い開催をしていきたい。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

4. 日本最強の城『岡城』見える化プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 （円）	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
岡城跡管理事業費	まちづくり文化財課	1. (1) 2 城下町の情感を活かした中心市街地の活性化	1,000,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	岡城跡の魅力である「石垣の美しさ」を多くの方に見ていただけるよう、平成27年度から城跡を覆う竹や雑木の伐採整備を継続的に実施している。R5年度は西の丸北側斜面にて伐採を実施、これにより城下町から岡城跡が見えるようになった。この他、これまでに伐採した箇所の再伐採、高石垣の除草作業、日常的な草刈作業等を実施した。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	【事業の効果】 城下町から岡城跡見えるようになり、観光振興やシビックプライドの醸成につながった。 【事業の推進】 今後も地域団体・住民や企業様と連携した清掃活動・伐採活動により、石垣の見える化を進め、史跡の本質的価値を保全し、後世に伝えていきたい。 【寄付を受けたことによる効果】 寄附により、当該年度の伐採範囲を広げることができ、過去に伐採した箇所のメンテナンス等も実施できた。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

5. 稲葉ダムThink and Act Projects

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 (円)	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
稲葉ダム周辺の『環境整備』、ダムや自然エネルギーに関する『教育支援』、環境整備や教育に係る『人材サポート』	建設課	1. (1) 2 城下町の情感を活かした中心市街地の活性化	1,000,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	宮城しだれ桜の里の取り組みをはじめ、悠然の里の景観保全、竹田中学校地域学（ダム見学）など、稲葉ダム周辺地域の特性を活かした地域振興・地域コミュニティ活動を実施した。『環境整備』のための歩行型雑草刈機（2台）、斜面草刈機（1台）を導入し、今後も継続的に行われる作業の効率化を図った。	①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。	【事業の効果】 地域資源の保全・活用に取り組み、地域活力の向上に寄与した。 【事業の推進】 今後も稲葉ダム周辺地域の自地域資源の保全活動支援や、教育支援、人材サポート等の取り組みを通して、稲葉ダム周辺地域一体となった交流圏の形成と地域活性化を図っていききたい。 【寄付を受けたことによる効果】 寄附により、環境整備機器を購入することができ、稲葉ダム周辺地域の草刈り作業が効率化され、地域住民の作業負担軽減につながった。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

6. 定住促進のための住環境整備プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 (円)	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
竹田市定住促進住宅取得事業補助金（若者の竹田市内への定住促進）	総合政策課	3. (1) 2 定住促進のための住環境整備	200,000円	移住施策を活用した移住者数 Uターンで転入した人数	0世帯 1世帯2人	100世帯 50人	令和6年度	60世帯 30世帯51人	「ここで暮らしたい」という願いを叶え、次世代につなげていくため、移住の推進、住環境整備をはじめとする定住促進を行った。 45歳未満の方が住宅を新築または新築購入した場合に竹田市定住促進住宅取得事業補助金（若者の竹田市内への定住促進）を交付した。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	【事業の効果】 本市への移住推進のため、住環境整備など定住促進に寄与した。 【事業の推進】 今後も移住者等が安心して定住ができるよう情報発信やサポート体制を強化、住環境整備事業を行い、移住定住の推進を図っていく。 【寄付を受けたことによる効果】 寄付により、若者の住環境整備に係る経費の負担軽減につながった。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

7. たけた竹灯籠『竹楽』と里山保全プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 (円)	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
竹田市誘客支援事業費補助金（第24回たけた竹灯籠竹楽）	商工観光課	1. (1) 2 城下町の情感を活かした中心市街地の活性化	1,100,000円	地域拠点（旧小学校区）の維持	19箇所	19箇所	令和6年度	19箇所	コロナウイルス感染症が5類に移行され4年ぶりにフルスペックで開催する第24回たけた竹灯籠「竹楽」イベントに対し助成をし、竹林の荒廃改善による里山保全と地域経済の活性化の取り組みを支援した。「竹楽」は市の一大イベントでもあることから、プロモーションに繋がった。	②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。	【事業の効果】 竹田市への誘客と地域経済の活性化が図られた。また、伐竹等の取り組みへの支援により、里山の保全に貢献できた。 【事業の推進】 今後も竹林の荒廃改善による里山保全と地域経済の活性化への取り組みに対し支援を継続していきたい。 【寄付を受けたことによる効果】 寄附により、竹田市への誘客が図られ、また里山保全活動支援をすることができた。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の効果検証

8. 子育て家庭にやさしく、夢に挑戦できる学びの場整備プロジェクト

取り組み事業	担当課	総合戦略への位置づけ	寄附受入額 (円)	数値目標					実績結果（令和5年度）	自己評価	事業の効果及び今後の方針
				指標	当初値(R1)	目標値	目標年月	実績値（R5）			
竹田市立中学校 制服購入補助金	学校教育課	3. (2) 3 子どもたちの学びを支える教育環境の整備・充実	2,000,000円	移住施策 を活用した移住者数 Uターン で転入した人数	0世帯 1世帯2人	100世帯 50人	令和6年度	60世帯 30世帯51人	竹田市立中学校「制服のあり方」に関する基本的方針をもとに、経済的負担の軽減、多様性への配慮、機能性の向上、リユースをはじめ環境負荷軽減等を勘案した市内中学校統一仕様の制服を導入した。	①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。	【事業の効果】 本事業を行うことにより保護者の経済的負担の軽減や性的マイノリティへの配慮、ジェンダーの平等の視点等、多様性への配慮、制服の機能性の向上が図られた。 【事業の推進】 新旧制服の移行期間を事業の推進期間と位置付けることにより、導入後6年目から全学年が新制服となるよう引き続き事業推進を図る。 【寄付を受けたことによる効果】 寄附により、保護者の経済的負担が軽減された。



※自己評価
①企業の寄付により地方創生の推進に非常に効果的であった。
②企業の寄付により地方創生の推進に相当程度効果があった。
③企業の寄付により地方創生の推進に効果があった。
④企業の寄付により地方創生の推進に効果がなかった。